

令和3年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

教科 : 理科

Research ⇒ 現状分析・課題把握

1年生・・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒練習プリントなどに意欲的に取り組んでいる。ノートづくりも丁寧に工夫している生徒が多い。今回の定期考査では、植物のからだのつくりに関する問題の正答率が高かった。今後は知識の確実な定着と、実験用具の操作などの技能の向上が課題である。

2年生・・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒実験・観察や練習プリントに意欲的に取り組んでいる。授業中の発言も積極的な生徒が多い。今回の定期考査では、実験・観察の技能に関する問題の正答率が高かった。今後は知識の確実な定着と、スケッチやグラフ作成、実験用具の操作などの技能や思考力・表現力の向上が課題である。

3年生・・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒実験・観察などに意欲的に取り組んでいる。授業中の発言や取り組む姿勢も2年次より前向きに取り組んでいる。定期考査の平均点は2年次より高い結果になっているが、得点の分布ではピークが2か所あり、理解が不十分な生徒についてはさらに注意深い指導が必要である。中学最終学年として、1・2年次に学習したなかで定着の弱い分野を強化し、知識の確実な定着を図る。

Plan ⇒ 課題解決のための主な取り組み(計画)

《 I 基礎的・基本的な知識・技能の『習得』 》

1年生・・・練習プリントや問題集を活用し、単元の中で復習を多く取り入れ、知識の着実な定着を図る。実験・観察に多く取り組み、実験操作やレポート作成などの基礎的・基本的な技能を習得する。

2年生・・・練習プリントや問題集を活用し、単元の中で復習を多く取り入れ、知識の着実な定着を図る。実験・観察に多く取り組み、実験操作やレポート作成などの基礎的・基本的な技能を着実に習得する。

3年生・・・練習プリントや問題集・小テストを活用し、1・2年の振り返りもいれながら復習を多く取り入れ、知識の着実な定着を図る。実験・観察に多く取り組み、実験操作やレポート作成などの基礎的・基本的な技能を着実に習得させる。

《 II 思考力・判断力・表現力等の『活用』する力の育成 》

1年生・・・実験結果からわかることを考察し、班での話し合いやレポート作成、クラスでの発表をし、思考力・判断力・表現力を高める。単元の内容に関わる身近な問題を調べ、それらをまとめながらさまざまな課題に対して自分なりの考えや判断力を身に付ける。

2年生・・・実験結果をグラフ化し規則性を見出すなど考察し、班での話し合いやレポート作成、クラスでの発表をし、思考力・判断力・表現力を高める。学習の中で生じた疑問について考え、レポートにまとめることで思考力・表現力を高める。

3年生・・・実験結果をグラフ化したりして規則性を見出すなど多方面から考察し、班での話し合いやレポート作成・発表をし、思考力・判断力・表現力を高める。学習内容と身近な現象や道具・課題について考え、調べることで思考力・表現力をさらに高め、さらに自分なりの考えや判断力を身に付けさせる。

《 III 『学ぶ意欲や態度』の向上、学習習慣の定着 》

1年生・・・学習内容と日常生活との関連や、さまざまな科学技術の活用例を紹介し、また自ら調べることで学ぶ意欲の向上を図る。定期的に復習の機会を設け、学習習慣の定着を図る。

2年生・・・学習内容と日常生活との関連や、さまざまな科学技術の歴史や活用例を紹介し、科学技術の原理を学ぶ意義を確認し学ぶ意欲の向上を図る。定期的に復習の機会を設け、学習習慣の定着を図る。

3年生・・・学習内容と日常生活との関連や、科学技術の歴史や発展・活用例を紹介し、科学技術の原理を学ぶ意義を確認し学ぶ意欲の向上を図る。振り返りの機会を設け、学習習慣の定着を図る。